



HARA MUSEUM ARC

ハラ ミュージアム アーク プレスリリース 2019年11月10日

「加藤泉-LIKE A ROLLING SNOWBALL」関連イベント

対談 山口桂 X 加藤泉 開催のお知らせ

(クリスティーズ・ジャパン社長)

(アーティスト)

日時：2019年12月1日 [日] 14:00-15:30/開場 13:30

会場：ハラ ミュージアム アーク カフェ ダール

只今開催中の「加藤泉-LIKE A ROLLING SNOWBALL」では、ギャラリーA、B、C、そして特別展示室 観海庵の4つの展示室を使用し、初期作品から近作まで、未発表作品を含む145点によって加藤泉の四半世紀にわたる活動を網羅的にご紹介、その圧倒的なスケールが来館者の好評を博しています。

この度、本展関連イベントとして、世界を代表するオークションハウスのひとつであるクリスティーズの日本法人代表・山口桂氏をお招きして特別対談を行います。山口氏は東洋美術の専門家であり、加藤氏とは親しい友人同士でもあります。観海庵での加藤作品と古美術の取り合わせ談義や、国際舞台で活躍するお二人を取り巻くアジア、そして世界のアートマーケットへの思いなど、他では聞けないお話しが盛り沢山の90分間となるでしょう。展覧会と合わせてぜひご取材いただきますよう、何卒よろしくご厚意申し上げます。



山口桂



加藤泉

山口 桂 (やまぐち かつら)

(株式会社クリスティーズ・ジャパン代表取締役社長、及び東洋美術部門インターナショナル・ディレクター)

1963年東京生まれ。立教大学文学部卒。広告代理店勤務の後、1992-1993年クリスティーズ・ロンドン及びニューヨークにて研修の後、1994年(株)クリスティーズ・ジャパン入社。同社副社長を経て2000年よりクリスティーズ・ニューヨーク日本・韓国美術部ヴァイス・プレジデント/シニア・スペシャリストとして勤務。2007年よりシニア・ヴァイス・プレジデント/日本韓国美術部門インターナショナル・ディレクター、2015年東洋美術部門インターナショナル・ディレクター、2017年7月に帰国。国内・国外での東洋美術のプライベート・セール、コレクション・セールを中心に活動し、2018年10月より現職。

数々の美術品のセールを手掛けるが、2008年には、日本・韓国美術オークションにて、伝運慶作大日如来像を売却し、日本古美術品としてのオークション史上世界最高額(現在も)を記録。当該作品は日本に戻り、翌年春に国の重要文化財に指定された。また2017年には、藤田美術館(大阪)所蔵の中国美術品オークションを手掛け、その総額で東洋美術に於けるオークション史上最高額を記録。2019年には、プライス・コレクション(アメリカ)の一部を出光美術館に売却し、若冲や応挙の写生画などの日本里帰りを実現させた。

現在、京都造形芸術大学客員教授、国際浮世絵学会理事、アダチ伝統木版画技術保存財団理事、日本陶磁協会、米国日本美術協会(JASA)会員。

NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」等のテレビ出演、執筆、翻訳多数。

加藤 泉 (かとう いずみ)

1969年島根県生まれ。東京と香港を拠点に活動。1992年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。「リトルボーイ：爆発する日本のサブカルチャー・アート」ジャパン・ソサエティー・ギャラリー（ニューヨーク、米国、2005年）、第52回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展「Think with the Senses—Feel with the Mind. Art in the Present Tense」（キュレーター：ロバート・ストーリー / イタリア館、ヴェネチア、イタリア、2007年）を契機に、国際舞台でも活躍。

主な個展に、彫刻の森美術館（神奈川、2010年）鹿児島県霧島アートの森（2012年）、Red Brick Art Museum（北京、中国、2018年）、Fundación Casa Wabi（プエルトエスコンディド、メキシコ、2019年）。

主なグループ展に「内臓感覚-遠くて近い生ノ声」金沢21世紀美術館（2013年）、「STANCE or DISTANCE? わたしと世界をつなぐ「距離」」熊本市現代美術館（2015年）、「Japanorama. A new vision on art since 1970」ポンピドゥ・センター・メッス（メッス、フランス、2017年）。

主なパブリックプロジェクトとして大館（タイクン、香港、2018年-2020年）、丸の内ストリートギャラリー（丸の内仲通り、東京、2018年-2021年）など。

●お申し込み先（定員になり次第締め切ります）

Tel : 0279-24-6585、 E-mail : arc@haramuseum.or.jp

●参加費（入館料/ 1ドリンク込）

一般 2,500 円、大学生・高校生 2,200 円、中学生・小学生・70歳以上 2,000 円、
メンバーシップ会員 1,500 円

「加藤泉-LIKE A ROLLING SNOWBALL」展示風景（広報用画像）



- 1.2 A ギャラリー-展示風景
3. 観海庵展示風景
4. B ギャラリー-展示風景
5. C ギャラリー-展示風景

すべて Photo: Yusuke Sato ©2019 Izumi Kato

【展覧会開催概要】

展覧会名 「加藤泉-LIKE A ROLLING SNOWBALL」（欧文表記 IZUMI KATO-LIKE A ROLLING SNOWBALL）

主催 原美術館

特別協力 ペロタン

会期 2019年7月13日 [土] - 2020年1月13日 [月・祝]

会場 ハラ ミュージアム アーク

〒377-0027 群馬県渋川市金井 2855-1 Tel 0279-24-6585 E-mail arc@haramuseum.or.jp

休館日 木曜日（1月2日を除く）、1月1日

開館時間 9:30am-4:30pm（入館は4:00pmまで）

入館料 一般 1,100 円、大高生 700 円、小中生 500 円、70歳以上 550 円

※「加藤泉と古美術の名品たち」展（特別展示室 観海庵）も併せてご覧いただけます。
原美術館メンバーシップ会員は無料、学期中の土曜日は群馬県内の小中学生の入館無料
ぐーちよきパスポートのご提示により5名様まで入館料各200円割引

20名様以上団体割引/学校団体は特別料金規定あり

伊香保グリーン牧場とのセット券（一般 1,800 円、大高生 1,500 円、中学生 1,400 円、小学生 800 円）

交通案内 JR 上越線「渋川駅」より伊香保温泉行バスにて約15分、「グリーン牧場前」下車、徒歩5分。

車の場合、関越自動車道「渋川・伊香保IC」より8km、約15分。無料駐車場あり。

ウェブサイト <https://www.haramuseum.or.jp> Twitter <https://twitter.com/HaraMuseumARC>

担当学芸員 青野、尾形

ハラ ミュージアム アークに関するお問い合わせ： 広報 山川、柳田

取材・図版提供などのお問い合わせ先： 原美術館 広報 市川 hmpr@haramuseum.or.jp

Tel 0279-24-6585 Fax 0279-24-0449 E-mail press@haramuseum.or.jp